

病院への受診は、お年寄りにとって数少ない外出の機会です。免許の返納などで買い物に出かけにくくなった「買い物弱者」の方にとって、受診の時に新鮮な野菜を買って帰ることができないのは有り難いことではないでしょうか。また、近所のお年寄りや職員にとっても有り難いことです。



新しい試みですので、評価はこれからですが、住みよい地域づくりの一助となればと考えております。

講演会『労働安全衛生としての腰痛について』の開催

令和元年12月21日にリハビリテーション科とやさしい介護委員会の共同企画として特別講演会を開催しました。

講師は、佐久総合病院でテクノエイド支援室長を務められた花澤直樹先生をお招きし、

◆「労働安全衛生としての腰痛について」

◆「テクノエイド（福祉機器）を利用した介助について」の2部構成で講演していただきました。

福祉器具の勉強を兼ねて

リハビリテーション科の中で福祉用具の勉強がしたいという意見があり、方法を模索していました。当院では

福祉用具の利用を進めている「やさしい介護委員会」、職員の健康増進のことを考える「HPH委員会」があります。今回のテーマが病院全体の課題となっており、講演会の形も病院全体の企画として行うのが良いと思い企画しました。

当日の様子

当日は、福祉関係者の方など、20名以上の方に参加していただきました。「ちょっとしたコツなど聞けてもつと話を聞きたかった」など参加された方はそれぞれ学びを得られた様子でした。

講演会を通じ感じたこと

まだまだ使用度は低い印象の移乗機器ですが、活用されるようになると、今まで



理学療法士 野首清矢

家に帰ることのできなかつた方も帰れるようになることが考えられます。当院からそのような情報が発信できると、今後も勉強していきたいと思いました。